

第5学年 単元名「比べてみよう陸の植物海の植物 ～花と実～」(2時間)

1 単元設定の理由

海の植物にも、おしべめしべがあり受粉によって種子ができ仲間を増やすものがあることを調べる。海洋環境での海草の役割を理解し、種まきや育苗を体験することを通して、海洋環境を身近に感じ、海の守り手としての意識を育てることができると考え本単元を設定した。

2 単元目標

海の植物の花のつくりや実のでき方に興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、花の役割や受粉と結実との関係を陸上植物と比較しながらとらえるとともに、生命を尊重する態度を養い、生命の連続性についての考えをもつことができるようにする。

3 単元の評価基準

自然事象への 関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知 識・理解
<p>海草の花のつくりや結実に興味をもち、観察しようとしている。</p> <p>海草の種まきと育苗を通して、生命を尊重する態度が育っている。</p>	<p>海草の結実及び発芽成長について予想や仮説をもち、陸上植物と比較しながら種まき及び育苗に取り組んでいる。</p> <p>海草の役割について考えをもっている。</p>	<p>海草の種子を丁寧に扱い種まきをおこない、継続して観察している。</p>	<p>海草の花のつくりや結実を理解している。</p> <p>海洋環境での海草の役割を理解している。</p>

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> 海の植物も花を咲かせて実をつけるかを考える。 陸上植物のように花を咲かせる「海草」を知る。 映像資料を基に海草の雄花、雌花や受粉の様子を調べる。 稚魚などのすみかとなるアマモ場やその保全活動について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 水媒花の受粉を想起する。 陸上植物と比較しながら考える。 海藻は、種子とは違った増え方をすることを知らせる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 海草のアマモを観察する。 アマモの種子を探す。 アマモの種子を粘土ブロックに植える。 ペットボトルに砂と海水、水を入れ、アマモの種子ブロックを入れる。 冷蔵庫で育苗する。 2か月の家庭での持ち帰り実験とする。 2か月後に持ち寄り、発芽したアマモを観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> アマモの種子を提示する。 発芽したアマモは海に戻すこととする。
<p>外部連携 / 教材等</p> <p>海辺つくり研究会 森田健二先生/アマモ種子、砂、海水</p>		